

在家仏教講演会 開催ご案内

東京 時間：午前10時～11時30分
会場：中野サンプラザ7階研修室10（中野区中野4-1-1）
会場整理費：700円 お問合せ：03-6684-6692

9月14日（土） 迷いからの脱出—問いの中に答えあり
武田定光 先生 真宗大谷派因速寺住職

9月28日（土） 迷いからの脱出
佐藤 研 先生 立教大学名誉教授

10月12日（土） 迷いからの脱出—私の愚を守る
大童法慧 先生 一般社団法人悲しみを佛の智慧に学ぶ会代表理事

10月26日（土） 迷いからの脱出—人生は迷いと悟りの織物
田上太秀 先生 駒澤大学名誉教授

11月9日（土） 迷いからの脱出
阿満利磨 先生 明治学院大学名誉教授

12月14日（土） 迷いからの脱出
伊藤 益 先生 筑波大学教授

1月11日（土） 心を見つめて迷悟を知る—三国に渡る変遷
蓑輪頭量 先生 東京大学教授

大阪 時間：午後3時～4時30分
会場：堂島アバンザ5階または14階（北区堂島1-6-20）
会場整理費：500円 お問合せ：06-6346-7000

9月20日（金） 維摩経を読む
西村恵信 先生 花園大学名誉教授

11月15日（金） 演題未定
山田法胤 先生 法相宗大本山薬師寺長老

いのち尊し

第27号
いのち尊し
令和元年7月1日
公益社団法人
在家仏教協会
〒101-0062
東京都千代田区
神田駿河台3-3
五明館ビル202号
TEL
03-6684-6692
FAX
03-6684-6709

輪読会「鈴木大拙を読む」報告1

国家神道に厳しい視線

東京・駿河台にある在家仏教協会の事務所に六月十九日、会員ら十人が集まった。輪読会「鈴木大拙を読む」の初会合だ。定刻の午前十一時になって議長役の私が簡単に挨拶、それぞれが自分の名前と年齢とを紹介し合った。会員歴二十年以上の方もあれば、とりあえず偵察という人もいる。

とは昭和十七年から十九年にかけて各地で講演した内容だ。短い「序」の末尾には「昭和十九年初夏 湘南也風流庵にて 鈴木大拙」との署名がある。「也風流」は「碧巖録」から採った禅語で、湘南にあった自らの書齋を「破れてはいるが、味気ないところも悪くない」と謙遜しているわけだ。

もともと昭和十九年に発刊された本だが、敗戦後間もない翌年十月に再刊されている。その際の「第二刷に序す」が、新しい角川版には四ページにわたって再録されている。その部分を読んでいくと、戦時中はさすがに遠慮したであろう怒りが次のようにぶちまけられていた。地域の祭りといった素朴さはともかくとして、神社が軍国主義のお先棒を担いだことは何だったか、というのだ。

さらには、その軍国主義の流れに身をゆだねた伝統仏教教団への不満も述べられているが、この時点ではまだ十分とは言えない。

第一シリーズは『日本の靈性』を読むことにし、テキストには角川ソフィア文庫の「完全版」を選んだ。岩波文庫版では削除されている最終章の「金剛経の禅」が復活されているし、末木文美士氏らによる新しい注釈も役立つだろうからだ。

その湘南地方の昭和十九年といえ、上空にB29爆撃機やグラマン艦載機が飛び始めていた。日本中が「鬼畜米英」と叫んでいた。輪読会のメンバーで最長老、九十一歳の相沢一男さんは「当時は横浜市に住む中学生でしたが、戦時体制に疑問を唱えるなど、考えられない時代でした」と話した。

《このような神道のどこに靈性的なものを見出し得るとすべきか。それにもかかわらず、彼らはこれをもって「超宗教」だとか、「宗教などというものの範疇にはくわえられないものだ」とかいうのである》（完全版十九頁）

一回目の輪読会はとりあえず不肖・菅原が発表者となり、以上のような趣旨の報告をさせていた。しかし、初めての例会だったので、出席者からの質問や意見に時間をどう割くべきか、などなど、反省点も多かった。次回は七月十七日（水）に、テキスト二十三ページからの「緒言」を読み進めていく。

（菅原伸郎・記）

文庫本といっても四百頁を超えてる論文集である。冒頭の「序」からゆっくり読んでいこう。もともと

家仏教者・鈴木大拙はあくまで冷静だった。本文を読み進めると、

ある



この一冊

野矢茂樹著 『哲学な日々〜考えさせない時代に抗して』(講談社)

匿名希望

座禅ゼミの指導もしている哲学教授の本。書名から想像して、簡単に読めないのではとも思ったが、その心配は無用であった。新聞コラムへの寄稿エッセイを中心に編纂されたもので、哲学や考えることを主題に、ユーモアを交え軽妙な文体で分かり易く綴ってある。国語辞典も哲学辞典も開く必要もなく、電車の中でも、寝転びながらでも読める。(後半の言語問題のところは脳をかなり刺激されたが)

座禅に関する章では、足の組み方、呼吸の回数、足の痛みをどう受け止めるのかなど、禅僧さながらの説明。「痛くても骨折することはない。がまんするのではなく、痛みを丸ごと受け入れてしまえば、気にならなくなる」と哲学者は、禅仏教の核心を語る。
へ立ち止まる脚力へと出した一節

通常総会を開催

在家仏教協会では第74回通常総会を6月25日(火)午後3時より中野区の中野サンプラザ7階研修室7にて開催しました。出席数は、ご本人12名、前日までに頂戴した委任状は250名、合わせて、262名となりました。

総会では、平成30年度の事業報告・収支決算、令和元年度の事業計画・収支予算、理事・監事の任期満了に伴う選任について承認いただきました。

理事長に菅原氏

総会終了後の理事会で、理事長に菅原伸郎氏を再任しました。新しい役員(任期二年)については次のとおりです。

- 理事長 菅原伸郎
(元朝日新聞こころ編集長)
副理事長 常包芳樹
(元協和キリン取締役)
理事 相澤一男
(元相澤組会長)
理事 石上善應
(大正大学名誉教授)
理事 金光壽郎

では、「目標を持ちこれを目指していく生き方もわかるが、目的地を目指して走るだけでは、人生はもったいない。散歩はゴールを目指すことへの対極にあり、目標に縛られていた時には見えないものへと心を開かせる」と語る。時間に余裕があり(ありすぎる)、目標もはつきりしなくなってきた年金生活者には嬉しいメッセージ。

その他、「ふふふ」と笑ってしまふ文章も少なくない。(哲学者のユーモアなのでおかしいと思うまで少々時間がかかるところもありますが)。哲学することは、理屈が走って、人にいやがられるおそれもある。しかし、正しい言葉づかいによつて(接続詞の使い方)に注意を促す一方で、おいしいものを食べても、まずいものを食べても、「やばい」と言う若者に著者は腹を立てていて)分かり易く語るならば、哲学によつて、人を笑わせることもできるのではないか。仏教と哲学が重なるとすれば、愉快な仏教もあるのでは、そんな感想も残った。



- (元NHKチーフディレクター) 理事 本多弘之
(親鸞仏教センター所長) 理事 加藤 潔 (元みずほビジネスパートナー執行役員) 理事 林克之
(元協和キリン経理部長) 理事 上村隆利
(元協和キリン総務部長) 理事 石原大道
(有有限会社大法輪閣取締役社長) 理事 村田 渉
(協和キリン常務執行役員) 監事 福屋浩三
(元協和メデックス監査役) 顧問 松田謙 (加藤記念バ イオサイエンス振興財団理事長)

ご寄付のお願い

当協会は、東京、大阪にて講演会活動を行っておりますが、その多くは寄附金によつて賄われております。講演会の存続のために温かいご支援をお願い致します。
協会への寄附金は税制優遇が受けられます。個人様からの寄附と法人様からの寄附について、事例を上げてご案内いたします。

★所得税
所得金額から「寄付金(所得金額

在家仏教通信

「大法輪8月号」に在家仏教講演会の講演録が掲載されました

出家・在家・作務・労働をめぐつて
宮元啓一
(國學院大学名誉教授)

2018年(平成30年)10月27日(土)中野サンプラザで開催されました連続講演会「宗教と労働」において、宮元啓一先生よりお話を伺いました。

在家仏教協会 四つの信条

- 一、釈尊の説法虚言ならずと信じていること。
二、釈尊の説法の内容そのものは永遠の真理であるが、それを大衆に知らせる手段は、時と処と人に応じつねに新鮮でなければならないと信じていること。
三、呪術らしきものは一切排除すること。
四、在家生活のまま仏教に生きようとしていること。

7月・8月の講演会はお休みします

7月・8月の東京、大阪での在家仏教講演会はお休みとさせていただきます。東京は9月14日(土)、大阪は9月20日(金)より再開いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

協会ホームページに講演会動画をアップしました

労働の場と個の確立
本多弘之先生
(親鸞仏教センター所長)

協会ホームページトップの講演会動画配信よりお入りください。
ID .. 各自会員番号
パスワード: zaikobukkyo

原稿をお待ちしています

◇随想「仏教と私」(八百字以内)
人生を振り返って仏教と出逢ったときの感動をお書きください。
◇読者からの手紙(八百字以内)
講演会(講演録)の感想などをお書きください。
◇コラム「この一冊」(八百字以内)
感銘を受けた書籍を紹介してください。新刊だけでなく、思い出の本も歓迎します。著者名、出版社名、発行年を忘れずに。

原稿用紙またはメールに添付して、左記宛てにお送りください。住所、氏名、電話番号、よろしければ職業と年齢もお書きください。読みやすくするために、あるいは編集上の都合で、趣旨を変えない範囲で削ったり直したりする場合があります。採用分には薄謝をお送りします。原稿の送り先は、〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-3-202 在家仏教協会「いのち尊し」係。メールはkaminura@zaikobukkyo.comまで。